



エンドユーザの管理

- [エンドユーザの概要 \(1 ページ\)](#)
- [エンドユーザ管理タスク \(1 ページ\)](#)

エンドユーザの概要

稼働中のシステムを管理する際に、システム内に設定済みのエンドユーザのリストを更新しなければならない場合があります。次の作業が含まれます。

- 新しいユーザの設定
- 新しいエンドユーザの電話機の設定
- エンドユーザのパスワードまたは PIN の変更
- IM and Presence Service に対するエンドユーザの有効化

Cisco Unified CM の管理の [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、Unified CM エンドユーザに関する情報を追加、検索、表示、保守できます。また、[ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] ウィンドウを使用して、新規エンドユーザとそのエンドユーザの新規電話を迅速に設定することもできます。

エンドユーザ管理タスク

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユーザテンプレートの設定 (2 ページ)	ユニバーサル回線テンプレートとデバイステンプレートを含むユーザプロファイルまたは機能グループテンプレートを使用してシステムを設定していない場合は、次のタスクを実行してセットアップします。

	コマンドまたはアクション	目的
		これらのテンプレートを新しいエンドユーザに適用することにより、新しいユーザと電話機を簡単に設定できます。
ステップ 2	<p>次の方法のいずれかを使用して新しいエンドユーザを追加します</p> <ul style="list-style-type: none"> • LDAP からのエンドユーザのインポート (8 ページ) • エンドユーザの手動追加 (9 ページ) 	<p>システムが設定済みであり会社の LDAP ディレクトリと同期している場合は、新しいエンドユーザを LDAP から直接インポートできます。</p> <p>まだ設定していない場合は、エンドユーザを手動で追加して設定できます。</p>
ステップ 3	<p>次のタスクのどちらかを実行することにより、新しいまたは既存のエンドユーザに電話機を割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エンドユーザ用の新しい電話機の追加 (10 ページ) • エンドユーザへの既存の電話機の移動 (11 ページ) 	<p>「新しい電話機の追加」手順に従い、ユニバーサルデバイステンプレートの設定を使用して、エンドユーザの新しい電話機を設定できます。</p> <p>また、「移動」手順に従って、すでに設定済みの既存の電話機を割り当てることもできます。</p>
ステップ 4	エンドユーザ PIN の変更 (12 ページ)	(オプション) Cisco Unified Communications Manager Administration でエンドユーザの PIN を変更する。
ステップ 5	エンドユーザパスワードの変更 (12 ページ)	(オプション) Cisco Unified Communications Manager Administration でエンドユーザのパスワードを変更する。
ステップ 6	Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成 (13 ページ)	(オプション) Cisco Unified Communications Manager Administration で個別の Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成する。

ユーザテンプレートの設定

次のタスクを実行して、ユーザプロファイルおよび機能グループテンプレートを設定します。新しいエンドユーザを追加したら、回線およびデバイス設定を使用してすばやくエンドユーザを設定し、エンドユーザの電話を設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユニバーサル回線テンプレートの設定 (3 ページ)	電話番号に一般的に適用される共通設定を使用して、ユニバーサル回線テンプレートを設定します。
ステップ 2	ユニバーサルデバイステンプレートの設定 (4 ページ)	電話に一般的に適用される共通設定を使用して、ユニバーサルデバイステンプレートを設定します。
ステップ 3	ユーザプロファイルの設定 (5 ページ)	ユニバーサル回線テンプレートとユニバーサルデバイステンプレートをユーザプロファイルに割り当てます。セルフプロビジョニング機能を設定している場合は、このプロファイルを使用するユーザに対してセルフプロビジョニングを有効化できます。
ステップ 4	機能グループテンプレートの設定 (7 ページ)	機能グループテンプレートにユーザプロファイルを割り当てます。LDAP同期ユーザの場合は、機能グループテンプレートによってユーザプロファイル設定がエンドユーザに関連付けられます。

ユニバーサル回線テンプレートの設定

ユニバーサル回線テンプレートを使用すると、新しく割り当てられたディレクトリ番号に共通の設定を簡単に適用できます。さまざまなユーザグループのニーズに合わせて、異なるテンプレートを設定します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユニバーサル回線テンプレート (Universal Line Template)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 [ユニバーサル回線テンプレートの設定 (Universal Line Template Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 4 代替番号を使用したグローバルダイヤルプランレプリケーションを展開する場合は、[エンタープライズ代替番号 (Enterprise Alternate Number)] セクションと [+E.164代替番号 (+E.164 Alternate Number)] セクションを展開して、次の手順を実行します。

- a) [エンタープライズ代替番号の追加 (Add Enterprise Alternate Number)] ボタンまたは [+E.164 代替番号の追加 (Add +E.164 Alternate Number)] ボタンのいずれか、または両方をクリックします。
- b) 代替番号への割り当てに使用する [番号マスク (Number Mask)] を追加します。たとえば、4桁の内線番号では、エンタープライズ番号マスクとして 5XXXX を使用し、+E.164 代替番号マスクとして 1972555XXXX を使用することが考えられます。
- c) 代替番号を割り当てるパーティションを割り当てます。
- d) ILS を通じてこの番号をアドバタイズする場合は、[ILS経由でグローバルにアドバタイズ (Advertise Globally via ILS)] チェックボックスをオンにします。アドバタイズされたパターンを使用して一定の代替番号の範囲を要約している場合は、個別の代替番号をアドバタイズする必要はありません。
- e) [PSTNフェールオーバー (PSTN Failover)] セクションを展開して、通常のコールルーティングが失敗した場合に使用する PSTN フェールオーバーとして、[エンタープライズ番号 (Enterprise Number)] または [+E.164代替番号 (+E.164 Alternate Number)] を選択します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[ユニバーサル デバイス テンプレートの設定 \(4 ページ\)](#)

ユニバーサル デバイス テンプレートの設定

ユニバーサル デバイス テンプレートを使用すると、新しくプロビジョニングしたデバイスに簡単に設定を適用できます。プロビジョニングされたデバイスは、ユニバーサル デバイス テンプレートの設定を使用します。さまざまなユーザグループのニーズを満たすために、異なるデバイステンプレートを設定できます。設定したプロファイルがこのテンプレートに割り当てることもできます。

始める前に

[ユニバーサル回線テンプレートの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザの管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユニバーサル デバイス テンプレート (Universal Device Template)] を選択します。
 - ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3** 次の必須フィールドに入力します。
 - a) テンプレートの [デバイスの説明 (Device Description)] を入力します。
 - b) [デバイスプールタイプ (Device Pool Type)] を 65 Device Pools 選択します。
 - c) [デバイスのセキュリティプロファイル (Device Security Profile)] をドロップダウンリストから選択します。

- d) [SIPプロファイル (SIP Profile)] をドロップダウンリストから選択します。
- e) [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] をドロップダウンリストから選択します。

ステップ 4 [ユニバーサルデバイステンプレートの設定 (Universal Device Template Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 5 [電話の設定 (Phone Settings)] で、次の任意指定のフィールドを入力します。

- a) [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] を設定した場合は、そのプロファイルを割り当てます。
- b) [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] を設定した場合は、その設定を割り当てます。
- c) [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] を設定した場合は、そのポリシーを割り当てます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[ユーザ プロファイルの設定 \(5 ページ\)](#)

ユーザ プロファイルの設定

ユーザ プロファイルを使用して、ユニバーサル回線テンプレートとユニバーサル デバイス テンプレートをユーザに割り当てます。さまざまなユーザ グループ用に複数のユーザ プロファイルを設定します。このサービスプロファイルを使用するユーザに対してセルフプロビジョニングを有効にすることもできます。

始める前に

[ユニバーサル デバイス テンプレートの設定 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[**ユーザ管理 (User Management)**] > [**ユーザ設定 (User Settings)**] > [**ユーザプロファイル (User Profile)**] を選択します。
 - ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3** ユーザ プロファイルの [名前 (Name)] および [説明 (Description)] を入力します。
 - ステップ 4** [ユニバーサルデバイステンプレート (Universal Device Template)] を、ユーザの [デスクフォン (Desk Phones)]、[モバイルおよびデスクトップデバイス (Mobile and Desktop Devices)]、および [リモート接続先/デバイスプロファイル (Remote Destination/Device Profiles)] に割り当てます。

- ステップ 5** [ユニバーサル回線テンプレート (Universal Line Template)] をこのユーザ プロファイルのユーザの電話回線に適用するために割り当てます。
- ステップ 6** このユーザ プロファイルのユーザに自分の電話をプロビジョニングするセルフプロビジョニング機能の使用を許可するには、次の手順を実行します
- [エンドユーザに自分の電話のプロビジョニングを許可 (Allow End User to Provision their own phones)] チェックボックスをオンにします。
 - [エンドユーザのプロビジョニングする電話数を制限 (Limit Provisioning once End User has this many phones)] フィールドに、ユーザがプロビジョニングできる電話の最大数を入力します。最大値は 20 です。
 - このプロファイルに関連付けられたユーザに、別のユーザがすでに所有しているデバイスを移行または再割り当てする権限があるかどうかを判断するには、[すでに別のエンドユーザに割り当てられた電話機のプロビジョニングを許可する (Allow Provisioning of a phone already assigned to a different End User)] チェックボックスをオンにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 7** このユーザ プロファイルに関連付けられた Cisco Jabber ユーザがモバイルおよびリモートアクセス機能を使用できるようにするには、[モバイルおよびリモートアクセスの有効化 (Enable Mobile and Remote Access)] チェックボックスをオンにします。
- (注)
- デフォルトでは、このチェックボックスはオンです。このチェックボックスをオフにすると、[Jabber ポリシー (Jabber Policies)] セクションが無効になり、サービス クライアント ポリシー オプションは、デフォルトで選択されません。
 - この設定は、OAuth 更新ログインを使用している Cisco Jabber のユーザにのみ必須です。非 Jabber ユーザは、この設定がなくてもモバイルおよびリモートアクセスを使用できます。モバイルおよびリモートアクセス機能は、Jabber のモバイルおよびリモートアクセスユーザにのみ適用され、他のエンドポイントまたはクライアントには適用されません。
- ステップ 8** このユーザ プロファイルに Jabber ポリシーを割り当てます。[Jabber デスクトップクライアントポリシー (Jabber Desktop Client Policy)] および [Jabber モバイルクライアントポリシー (Jabber Mobile Client Policy)] のドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
- [サービスなし (No Service)] : このポリシーでは、すべての Cisco Jabber サービスへのアクセスが禁止されます。
 - [IM & Presence のみ (IM & Presence only)] : このポリシーは、インスタントメッセージとプレゼンス機能だけを有効にします。
 - [IM & Presence、音声およびビデオ通話 (IM & Presence, Voice and Video calls)] : このポリシーは、オーディオまたはビデオデバイスを所有しているすべてのユーザーに対して、インスタントメッセージング、プレゼンス、ボイスメール、および会議機能を有効にします。これがデフォルトのオプションです。
- (注) Jabber デスクトップクライアントには、Windows ユーザ用 Cisco Jabber と、Mac ユーザ用 Cisco Jabber が含まれています。Jabber モバイルクライアントには、iPad および iPhone ユーザ用 Cisco Jabber と、Android ユーザ用 Cisco Jabber が含まれています。

ステップ 9 このユーザ プロファイルのユーザが Cisco Unified Communications セルフケア ポータルで Extension Mobility または Extension Mobility Cross Cluster の最大ログイン時間を設定できるようにするには、[エンドユーザにエクステンションモビリティの最大ログイン時間の設定を許可する (Allow End User to set their Extension Mobility maximum login time)] チェックボックスをオンにします。

(注) デフォルトでは[エンドユーザにエクステンションモビリティの最大ログイン時間の設定を許可する (Allow End User to set their Extension Mobility maximum login time)] チェック ボックスはオフになっています。

ステップ 10 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[機能グループ テンプレートの設定 \(7 ページ\)](#)

機能グループ テンプレートの設定

機能グループテンプレートは、プロビジョニングされたユーザ用に、電話、回線、および機能をすばやく設定できるようにすることで、システムの展開をサポートします。企業の LDAP ディレクトリからユーザを同期している場合は、ディレクトリからユーザを同期させるユーザ プロファイルおよびサービス プロファイルを使用して機能グループ テンプレートを設定します。このテンプレートを使用して、同期されたユーザに対して IM and Presence Service を有効化することもできます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [機能グループ テンプレート (Feature Group Template)] を選択します。
 - ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3** 機能グループ テンプレートの [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。
 - ステップ 4** このテンプレートを使用するすべてのユーザのホーム クラスタとしてローカルクラスタを使用する場合は、[ホーム クラスタ (Home Cluster)] チェック ボックスをオンにします。
 - ステップ 5** このテンプレートを使用するユーザがインスタントメッセージおよびプレゼンス情報を交換できるようにするには、[Unified CM IM and Presenceのユーザを有効化 (Enable User for Unified CM IM and Presence)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 6** ドロップダウン リストから、[サービスプロファイル (Services Profile)] および [ユーザ プロファイル (User Profile)] を選択します。
 - ステップ 7** [機能グループ テンプレートの設定 (Feature Group Template Configuration)] ウィンドウの残りのフィールドに入力します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 8 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

新規エンドユーザを追加します。システムが会社の LDAP ディレクトリと統合されている場合は、LDAP ディレクトリから直接ユーザをインポートできます。そうでない場合は、手動でエンドユーザを作成します。

- [LDAP からのエンドユーザのインポート \(8 ページ\)](#)
- [エンドユーザの手動追加 \(9 ページ\)](#)

LDAP からのエンドユーザのインポート

社内 LDAP ディレクトリから新しいエンドユーザを手動でインポートするには、次の手順に従います。LDAP 同期設定に、機能グループテンプレートとユーザプロファイル (ユニバーサル回線テンプレート、ユニバーサルデバイステンプレートを含む)、および DN プールが含まれている場合、インポートプロセスによりエンドユーザとプライマリ エクステンションが自動的に設定されます。



(注) 初回同期の実行後には、新しい設定 (たとえば、機能グループテンプレートの追加) を LDAP ディレクトリ同期に追加することはできません。既存の LDAP 同期を編集する場合は、一括管理を使用するか、または新しい LDAP 同期を設定する必要があります。

始める前に

この手順を開始する前に、Cisco Unified Communications Manager が社内の LDAP ディレクトリとすでに同期していることを確認します。LDAP 同期には、ユニバーサル回線テンプレートおよびユニバーサルデバイステンプレートと機能グループテンプレートが含まれている必要があります。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[システム (System)] > [LDAP (LADP)] > [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] を選択します。

ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックし、ユーザの追加先 LDAP ディレクトリを選択します。

ステップ 3 [完全同期を実施 (Perform Full Sync)] をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager が、外部の LDAP ディレクトリと同期します。LDAP ディレクトリ内の新しいエンドユーザが Cisco Unified Communications Manager データベースにインポートされます。

次のタスク

セルフプロビジョニングが有効になっている場合、エンドユーザがセルフプロビジョニング自動音声応答（IVR）を使用して新しい電話機をプロビジョニングできます。有効になっていない場合は、次のタスクのいずれかを実行して、電話機をエンドユーザに割り当てます。

- [エンドユーザ用の新しい電話機の追加](#)（10 ページ）
- [エンドユーザへの既存の電話機の移動](#)（11 ページ）

エンドユーザの手動追加

次の手順を実行して、新しいエンドユーザを追加し、そのエンドユーザをアクセスコントロールグループとプライマリ回線内線番号を指定して設定します。



(注) ユーザを割り当てる役割の権限を持つアクセス制御グループがすでに設定されていることを確認してください。詳細については、「ユーザーアクセスの管理」の章を参照してください。

始める前に

ユニバーサル回線テンプレートを含むユーザプロファイルが設定されていることを確認します。新しい内線番号を設定する必要がある場合は、Cisco Unified Communications Manager でユニバーサル回線テンプレートの設定を使用してプライマリ内線番号を設定します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザー管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] を選択します。
- ステップ 2** ユーザのユーザIDと姓を入力します。
- ステップ 3** [機能グループテンプレート (Feature Group Template)] ドロップダウンリストで、機能グループテンプレートを選択します。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。
- ステップ 5** [ユーザプロファイル (User Profile)] ドロップダウンリストで、選択したユーザプロファイルにユニバーサル回線テンプレートが含まれていることを確認します。
- ステップ 6** [アクセスコントロールグループメンバーシップ (Access Control Group Membership)] セクションで、[+] アイコンをクリックします。
- ステップ 7** [ユーザの所属グループ (User is a member of)] ドロップダウンリストで、アクセスコントロールグループを選択します。
- ステップ 8** [プライマリ内線番号 (Primary Extension)] の下で、[+] アイコンをクリックします。
- ステップ 9** [内線番号 (Extension)] ドロップダウンリストで、[(使用可能) (available)] として表示されている DN を選択します。

- ステップ 10** すべての回線内線番号が [(使用済み) (used)] と表示されている場合は、次の手順を実行します。
- [新規... (New...)] ボタンをクリックします。
[新規内線の追加 (Add New Extension)] ポップアップが表示されます。
 - [電話番号 (Directory Number)] フィールドに、新しい回線内線番号を入力します。
 - [回線テンプレート (Line Template)] ドロップダウンリストから、ユニバーサル回線テンプレートを選択します。
 - [OK] をクリックします。
Cisco Unified Communications Manager が、ユニバーサル回線テンプレートの設定を使用して電話番号を設定します。
- ステップ 11** (任意) [ユーザ/電話のクイック追加設定 (Quick User/Phone Add Configuration)] ウィンドウで、追加のフィールドに値を入力します。
- ステップ 12** [保存] をクリックします。

次のタスク

次の手順のいずれかを実行して、このエンドユーザに電話機を割り当てます。

- [エンドユーザ用の新しい電話機の追加 \(10 ページ\)](#)
- [エンドユーザへの既存の電話機の移動 \(11 ページ\)](#)

エンドユーザ用の新しい電話機の追加

次の手順を実行して、新しいエンドユーザまたは既存のエンドユーザ用の新しい電話機を追加します。エンドユーザのユーザプロファイルにユニバーサルデバイステンプレートが含まれていることを確認します。Cisco Unified Communications Manager が、ユニバーサルデバイステンプレートの設定を使用して電話機を設定します。

始める前に

次の手順のいずれかを実行して、エンドユーザを追加します。

- [エンドユーザの手動追加 \(9 ページ\)](#)
- [LDAP からのエンドユーザのインポート \(8 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックして、新しい電話機を追加するユーザを選択します。
- ステップ 3** [デバイスの管理 (Manage Devices)] ボタンをクリックします。

- [デバイスの管理 (Manage Devices)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [電話の新規追加 (Add New Phone)] をクリックします。
[ユーザに電話を追加 (Add Phone to User)] ポップアップが表示されます。
- ステップ 5** [製品タイプ (Product Type)] ドロップダウンリストで、電話機モデルを選択します。
- ステップ 6** [デバイス プロトコル (Device Protocol)] ドロップダウンリストから、プロトコルとして [SIP] または [SCCP] を選択します。
- ステップ 7** [デバイス名 (Device Name)] テキストボックスに、デバイスの MAC アドレスを入力します。
- ステップ 8** [ユニバーサルデバイス テンプレート (Universal Device Template)] ドロップダウンリストで、ユニバーサル デバイス テンプレートを選択します。
- ステップ 9** 電話機が拡張モジュールをサポートしている場合は、展開する拡張モジュールの数を入力します。
- ステップ 10** エクステンションモビリティを使用して電話機にアクセスするには、[エクステンションモビリティ内 (In Extension Mobility)] チェック ボックスをオンにします。
- ステップ 11** [電話の追加 (Add Phone)] をクリックします。
[電話の新規追加 (Add New Phone)] ポップアップが閉じます。Cisco Unified Communications Manager が、電話機をユーザに追加し、ユニバーサル デバイス テンプレートを使用してその電話機を設定します。
- ステップ 12** 電話機の設定に追加の編集を加えるには、対応する鉛筆アイコンをクリックして、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで電話機を開きます。

エンドユーザへの既存の電話機の移動

次の手順を実行して、既存の電話機を新しいまたは既存のエンドユーザに移動します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックして、既存の電話機を移動するユーザを選択します。
- ステップ 3** [デバイスの管理 (Manage Devices)] ボタンをクリックします。
- ステップ 4** [このユーザに移動する電話の検索 (Find a Phone to Move To This User)] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** このユーザに移動する電話機を選択します。
- ステップ 6** [選択項目の移動 (Move Selected)] をクリックします。

エンドユーザ PIN の変更

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 既存のユーザを選択するには、[ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] をクリックしてユーザのリストを取得した後、リストからユーザを選択します。
[エンドユーザ設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [PIN] フィールドで、暗号化された既存の PIN をダブルクリックして、新しい PIN を入力します。割り当てられている資格情報ポリシーに指定されている文字数以上 (1 ~ 127 文字) を入力する必要があります。
- ステップ 4** [PIN の確認 (Confirm PIN)] フィールドで、既存の暗号化された PIN をダブルクリックし、もう一度、新しい PIN を入力します。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。

(注) Cisco Unity Connection の [アプリケーションサーバの設定 (Application Server Configuration)] ウィンドウで [エンドユーザ PIN の同期 (End User Pin synchronization)] チェックボックスが有効になっている場合は、エクステンションモビリティ、開催中の会議、モバイルコネク、および Cisco Unity Connection ボイスメールに同じエンドユーザ PIN を使用してログインできます。エンドユーザは、同じ PIN を使用して、エクステンションモビリティにログインし、自分のボイスメールにアクセスできます。

エンドユーザパスワードの変更

LDAP 認証が有効になっている場合は、エンドユーザパスワードを変更できません。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 既存のユーザを選択するには、[ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] をクリックしてユーザのリストを取得した後、リストからユーザを選択します。
[エンドユーザ設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 3** [パスワード (Password)] フィールドで、暗号化された既存のパスワードをダブルクリックして、新しいパスワードを入力します。割り当てられている資格情報ポリシーに指定されている文字数以上 (1 ~ 127 文字) を入力する必要があります。
- ステップ 4** [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドで、既存の暗号化されたパスワードをダブルクリックし、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。

Cisco Unity Connection ボイス メールボックスの作成

始める前に

- Cisco Unified Communications Manager をボイス メッセージング用に設定する必要があります。Cisco Unity Connection を使用するように Cisco Unified Communications Manager を設定する方法については、次で『*System Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>
- デバイスとプライマリ内線番号をエンドユーザに関連付ける必要があります。
- このセクションで説明する手順を実行する代わりに、Cisco Unity Connection で使用可能なインポート機能を使用できます。インポート機能の使用方法については、『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager Administration で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 既存のユーザを選択するには、[ユーザを次の条件で検索 (Find User where)] フィールドで適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] をクリックしてユーザのリストを取得した後、リストからユーザを選択します。
[エンドユーザ設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** プライマリ内線番号がこのユーザに関連付けられていることを確認します。
- (注) プライマリ内線番号を定義する必要があります。そうしなかった場合は、[関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストに Cisco Unity ユーザリンクが表示されません。
- ステップ 4** [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity ユーザの作成 (Create Cisco Unity User)] リンクを選択してから、[移動 (Go)] をクリックします。
[Cisco Unity ユーザの追加 (Add Cisco Unity User)] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 5 [アプリケーションサーバ (Application Server)] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection ユーザを作成する Cisco Unity Connection サーバを選択してから、[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 6 [サブスクライバテンプレート (Subscriber Template)] ドロップダウンリストで、使用するサブスクライバテンプレートを選択します。

ステップ 7 [保存] をクリックします。

メールボックスが作成されます。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリスト内のリンクが [Cisco Unity ユーザの編集 (Edit Cisco Unity User)] に変化します。これで、Cisco Unity Connection Administration で、作成したユーザを確認できます。

- (注) Cisco Unity Connection ユーザと Cisco Unified Communications Manager エンドユーザを統合した後は、[エイリアス (Alias)] (Cisco Unified CM の管理内のユーザ ID)、[名 (First Name)]、[姓 (Last Name)]、[内線番号 (Extension)] (Cisco Unified CM の管理内のプライマリ内線番号) などの Cisco Unified CM の管理内のフィールドを編集できなくなります。これらのフィールドは、Cisco Unified CM の管理でしか更新できません。
-